



発行所  
群馬県館林市尾曳町6-1  
群馬県立館林女子高等学校  
同窓会  
印刷所  
東京広告株式会社



伝統を引き継いで

同窓会長 仁田 征子

同窓会の皆様には、お元気で活躍のこととお慶び申し上げます。

十七年間の長きにわたり同窓会長としてご尽力くださいました宮田澄江前会長の後を受け、会長を仰せつかりました仁田征子でございます。若輩者で、重責を果たせるかどうか心配ですが、役員の皆様、会員の皆様のお力をお借りしまして、先輩方の築いてこられた伝統を守りつつ、母校の発展のため、同窓会の発展のため、力を尽くしてまいります。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

館林女子高校は、周囲を緑に囲まれ、館林城跡の一面に

是非お願ひしたいと思ひます。

あります。東には花山があり、母校の校歌にも唄われております。目を閉じれば、女学生の頃、つつじの花に囲まれた中で、友と夢を語り合ったことを思い出します。卒業生一人ひとりの中にもこのよな母校の思い出が沢山あるのではないのでしょうか。

その母校も今年、創立九十八周年を迎えました。毎年、開校記念式典では卒業生の中から、夢を実現なさった方の講演を戴いております。お一人お一人が、それぞれの夢と現実に向かい合って日々を過ごされていることと思ひます。母校でお話をして戴ける方がいらっしやいましたら、

是非お願ひしたいと思ひます。



た同窓生によって記念樹が植えられ、大きく育っています。同窓会館の周囲にはミレニアムを記念して植えられた桜が毎年、見事に咲き誇っています。時の流れの速さに驚きます。同窓生の皆様には、是非、母校に足をお運びになつて頂きたいと思ひます。

毎年、同窓会では、六月に総会、秋に観劇会を行っています。これからも同窓会が発展していけるよう精一杯努力いたしますので、是非、同窓会行事にご参加くださいますようお願い申し上げます。

「再び館女に 赴任して」

校長 金子 弘 幸



間でした。生徒に関しては、あの頃と変わらないと感じました。「明るく、素直で、ちょっと控えめ」というのが私の館女生像なのですが、今もそのような印象を受けました。そして、館女の良き伝統が受け継がれていることを大変嬉しく思いました。

四月八日の始業式に、二十二年ぶりに本校の校歌を聴き、自然と口ずさむ自分がおりました。私は昭和五十八年から十年間、英語教師として勤務させていただいておりましたが、館林女子高校に再び赴任したことを実感した瞬間

私にとりましては、今回は校長としての赴任ですので、学校運営のことをまず考えなければならぬと思ひました。しかし学校運営に関しては、正直、懐かしさよりも驚くことの方がたくさんありました。

私は、最初の職員会議で、とりあえずあらゆる組織運営の基本を二点、「組織の一体化」と「整理整頓」について話させていただきましたが、その二つはすでに本校ではかなり高いレベルで実践されている

母校の玄関に創立十五周年のころ、七十周年、八十周年と三枚の航空写真が飾つてあります。平成八年に同窓生より寄贈されたグラランドピアノは体育館のステージで校歌を奏でていきます。南校舎前には、オリンピックに出場され

と感じました。二十二年の間に、歴代の管理職の先生方を始め、職員の方々が、着実に、館林女子高校を進化させてきたことに對し、心より敬意と感謝を表したいと思います。

さて、それではこれから館林女子高校がどのような方向に進んで行けばよいのか、という問題になりますが、本校の存在意義や教育の目的を自分自身にもう一度問い直してみた時、私は何年前かの大学の同窓会のことを思い出しました。

その同窓会では、約三十年ぶりに大学の友人と会いましたが、そこに出席した人のほとんどは心理学を専攻した人たちでした。しかも多くは大学教授になっていました。教育学専攻は私だけでした。学生時代にタイムスリップしたようになり、当時の話題に花が咲きましたが、私は心理学の教授になっていた女性から「金子君は何でずっと教育をやっているの?」という質問を受けました。その時は教頭職でしたが、確かに教育に関わって生きてきましたから、私は、「それは生徒の将来の幸

せのためだよ。」と答えると、心理学専攻の同級生達は呆れたように、「人が人を幸せにできるわけないじゃない!そんなことを本気で考えているの?」と言われました。私は、「それじゃ、君たちは何のために心理学を研究しているの?」と聞くと、「心理学は心理学の発展のためにやっているのよ。それが誰かの幸せになるなんて考えたこともない。」というのです。それから論戦が始まり、夜明けまで語り合いました。

この論戦は、私自身の考えを整理するためのよいきっかけになりました。確かに、生徒を幸せにする力など私にはない。そんなことはわかってい。ただ、生徒が少しでも幸せになる方向へ導きたいと思。その方向を生徒に示すことはできる。あいさつをする子としない子では、あいさつをする子の方が周りから愛される。服の着こなしができている子の方が、乱れた服装の子よりは周りから信頼される。集団的な部活動をしっかりとできる子の方がコミュニケーション能力が高まり、運動部

なら健康面が向上する。まじめに学習する子の方が、仕事に就いても、家庭をもつても、新しいことを学ぶ力があるから適応能力が高い。それらはすべて生徒が少しでも幸せになる方向へ導いていることであり、それが教育の目的だと思いました。そのことがあらゆる教育活動のバックボーンでなくてはならないし、教育における価値判断の基準になるものだと思います。もし、何事においても、目的をはっきり考えずに行っていたら、それは怖いことであり、ズレたり、間違った方向に進んでも修正が難しいのではないかと思。います。

教育は生徒を少しでも幸せになれる方向へ導くもの。ただそれは決して強制ではなく、「こつちへ行つた方がいいよ。」と示すだけ。それを受け入れるかどうかは生徒自身の判断。それが自主・自律ということ。そのような考えをもって赴任した私には、館林女子高校の教育活動はとても素晴らしいと思。いました。高校時代は人格を向上させ、内面の魅力を磨くことに焦点を合わせる方

が将来の幸福につながる、という信念が脈々と受け継がれていると感じたからです。館女でまた仕事ができ、本当に良かったと思。いました。

私も諸先輩の先生方を見習い、微力ではありますが、本校の教育活動が、さらに地域社会に認められ、信頼されま。すよう誠心誠意、職務に取り

## 退任のごあいさつ

前同窓会長

昭和27年度卒業

宮田澄江



三年後に創立百周年を迎える歴史と伝統のある館林女子高校の同窓会本部役員として四十年以上携わってきました。

五代目同窓会長の金澤登志子先生の後を引き継ぎ、六代目会長として十七年間、過ごしてきました。お陰様で、長い歴史の中で、共に母校を思う多くの同窓生に支えられな

組む所存でおります。

最後に、同窓会・同窓生の皆様におかれましては、いつも母校の教育活動にご支援をいただいておりますことに對し、改めて深甚なる感謝を申し上げます。そしてこれから母校の発展のために、変わらぬお力添えをいただければ幸甚に存じます。

.....

がら同窓会をまとめることができました。

思い起こせば、沢山の宝物のような思い出があります。特に、創立六十周年事業での中庭の造園は、印象深いものがありました。また、同窓会総会後のティーパーティーで同窓生の方々と語り合ったこと。友誼祭での作品展やバザー、多くの人が参加して下さった観劇会。マンドリンギター部の生徒の応援に行った大阪大会。数え切れないほどの思い出があります。

長い歴史の中で、共に母校を愛し、発展のためにご支援してくださった多くの同窓生に感謝いたします。ありがとうございました。

# 開校記念式典記念講演会 四月十七日(金)

## 「私のパリ時代」

講師 大山 恵美子 氏



〈講師プロフィール〉  
昭和52年3月に館林女子高等学校を卒業。  
2002～2014に行われた国展(国立新美術館/六本木)に出品。  
東京、群馬で個展・グループ展多数を開催。  
作品は大英博物館(ロンドン)、米国議会図書館(ワシントン)に収蔵され、日本国画家会、プリントザウルス国際版画交流協会会員としても活躍。

## パリで得たもの

昭和36年度卒業

齋藤 弘子

### この道を行く

一つ一つの言葉を確かめるように、ご自分の体験を話してくださいました。誠実に後輩への思いを伝えようとする、真摯なお気持ちを感じられました。

美術が好き、でも、中学時代活躍したテニスも続けた。気持ちの揺れる高校入学の頃、活発だった美術部へ、入部を強く勧められました。進む道を方向づける契機とな

りました。

「人生はやり直しが大きく、でも、夢を実現するために、高校生の今は大切な時。多くのことを体験し、しっかり考え、大事なチャンスをのがさないでほしい。」と、後輩へ語りかけてくださいました。

### いざ、パリへ

大学で毎年一人だけ選ばれる試験、新進芸術家が海外で学ぶための資金援助が受けら

れる試験、二つに合格し、パリへの留学が決まりました。

シテ・デ・ザール(国際芸術家村)に、大学がアトリエを借りています。十分な広さと設備がととのい、言葉がわからなくても使用できるような、標識や記号等の表示が行き届いた施設です。

たくさんの国から、あらゆる分野の芸術家が集まります。三か月位が多い中で、一年間の滞在は恵まれた留学でした。特典として、半永久的に年に一〜二か月の滞在が認められ、滞在中はルーブル、オルセー、ポンピドゥー美術館への入場が無料になります。

### パリを楽しむ

シテ・デ・ザールはノートルダムまで三分位、ルーブルにも近い所です。パリは建物も保存のために美術館等に活用し、作品共々楽しむことができます。

中世の人も歩いたであろう石畳を踏み、観光地のちよつと路地を入ったところにあるお店で、おいしいパンが買えました。バスターミユ駅の朝市は野菜、果物、アクセサリー等、何でもあり。見るだけでも楽しいものでした。画材等が高価なため、パン屋も

朝市も、一個買、まとめ買いを楽しみながら重宝したそうです。

六月二十一日は「音楽の日」。一日中、パリに音楽があふれます。花も世界中から入ってきますが、「種の保存」に関心が高く、原種を大切にしています。シテ・デ・ザールの庭にも植物の原種がたくさんありました。

時はゆったりと流れ、様々な手続も時間がかかり、エレベーターも忘れた頃にやってきました。季節ごとの日照時間に合わせた、太陽をあびることを楽しむ人の姿があり、すべての生活時間がおおらかに過ぎてゆきました。

### 個展と個性

シテ・デ・ザールの生活は「個展を開くこと」が条件でした。発表した作品には反応が早く、佳作には援助を惜しみませんでした。独創性を重んじ、素直にほめてくれました。作家として、オリジナリティを優先して評価されるのは嬉しいことでした。

ご両親の看病を通して気づいたことがあり、アーティストなのに人に媚びている自分が見えてきました。「公募展には向かないかもしれない

が、自分の納得できる作品を作ろう」と思った時、心はすっきりしました。それがパリの活動を通して深められ、現在の一点物の版画の技法や制作につながっています。

### 残して、育てる

自然にやさしい画材の研究でベルギーを訪れたり、新しい技法を工夫したり、納得できる作品制作への精進は尽きることがありません。同時に「東毛の地に美術の何かを残し、夢をもつ人を育てたい」という願いを持ち、そのための活動の場を広げていらっしやいます。

### さいごに

留学中「上毛新聞」に送られた『パリ通信』の画像等を拝見しながら、お話をうかがいました。

はるか昔訪れたパリは、私にとつてなつかしい思い出の地として心に残ります。

大山先生のパリは、研鑽を積み、世界での評価を獲得し、友人の輪を広げ、生活を楽しめるまで深く入りこめたところでした。

その重みを考えた時、感動で胸がいっぱいになりました。



### 総会・ティーパーティーに参加して

昭和38年度卒業  
廣 浦 秀 子

今年是不安定な気候が多く、梅雨に入り激しい雨が降り続けています。当日も悪天候の中、六月七日(土)午後一時三十分より、同窓会員六十余名の方々と新井校長先生はじめ、同窓会担当の先生各位により文化会館(明日香の間)を会場に同窓会総会が開催されました。

新井校長先生には、在校生のスポーツや部活動の輝かしい活動報告などを兼ねてのご挨拶を頂きました。

その後総会に入り、すべての議事が慎重、審議の上、承認され、新役員と二十六年度がスタート致しました。

第一部総会では、宮田澄江会長から、歴史と伝統に輝く同窓会長を十七年間の長きに渡り引張ってこられた事、この総会にて同窓会長を退任される事のご挨拶があり、ただただご苦労も数知れずあったことと存じます。ほんとうに感謝と敬意の気持ちでございます。長い間ほんとうに有難うございましたと共にお疲れ様でした。

又、仁田征子新会長には三年後の創立百周年に向けて伝統の重みと責任でたいへんな事と存じます。

和やかなティーパーティーでは、館女の同窓生ということで、年代を超えて、楽しい会話に花が咲き、あつという間に時間が過ぎてしまいました。

最後の締め括りは、全員による校歌の合唱。何年経っても、メロディーが流れると昔を思い出し、自然に歌詞が浮

かんで来ました。

「来年も又お会いしましょう」と齋藤弘子副会長のお言葉で、来年の再会を誓います。

末筆になりましたが、本会開催運営にあたり、同窓会役員の皆様方、及び関係各位の皆様方に心よりお礼申し上げます。

創立百周年という輝かしい未来を迎える群馬県立館林女子高等学校の益々のご発展と館女同窓会会員の皆様方のご健勝、ご多幸、ご活躍をお祈り申し上げます。

原稿を書かせて頂きましたこと、ありがとうございます。



### 平成27年度 行事予定

平成27年	平成28年
4月8日 (水)	1月初旬
入学式 第1回 本部役員会 (総会・開校記念式典について)	第5回 本部役員会 (同窓会入会式・今後の予定について)
開校記念日	同窓会入会式 卒業式
5月17日 (火)	2月29日 (月)
開校記念式典及び記念講演会 第2回 本部役員会	3月1日 (火)
定期総会・観劇会について (総会・観劇会について)	
6月6日 (土)	
会報発行	
6月初旬	
関東大会出場後援	
7月下旬	
全国大会出場後援	
9月中旬	
第3回 本部役員会 (観劇会について・平成28年度開校記念講師について)	
10月17日 (土)	
観劇会	





### 館女同窓会活動を知って

平成二十六年十一月八日

歌舞伎座 観劇会に参加  
昭和52年度卒業

茂 木 眞由美

夫の仕事に伴い、ずっと県外、国外に住いして居りました為、長く地元同窓生との連絡も無く居りましたが、数十年ぶりに館林に戻り、地域活動で御一緒する様になりました

初世松本白鸚三十三回忌追善吉例顔見世大歌舞伎 昼の部  
演目一・寿式三番叟

た先輩同窓生方に、館女同窓会活動について教えて頂く機会を得、そのお話のなかで、歌舞伎観劇会の事を知りました。この度は、先輩方との御縁で、観劇会にお誘い頂き初参加の運びとなりました。

二・井伊大老  
三・熊谷陣屋  
――一谷嫩軍記――

当日、私達はバス参加でしたが、直接、歌舞伎座集合の方々も多くいらつしやるとの事でした。

私は元来、人間国宝中村吉右衛門さんの大ファンなので、今回とても嬉しい公演です。井伊大老役の吉右衛門さんの、シユツとした立姿、淀みないセリフ回し、全てが眼福です。また、当代きつての舞踊の名手、坂東三津五郎さんの次世代の踊り手は、当代市川猿之助さんか市川染五郎さんと思う私には、染五郎さん舞踊の最初の演目、寿式三番叟もたいへん嬉しい演目です。

車中、周りの席の諸先輩方から、お菓子など頂戴し、ワイワイ話に花を咲かせている間に、新歌舞伎座到着です。新歌舞伎座が開場してから、友人と上の喫茶で庭園を眺めながらお茶をしたり、木挽町広場の散策はしていたものの、劇場での観劇は初めて

最後になりましたが、館林女子高校同窓会活動を、長きに亘りお支え下さり、お守り下さいました役員様はじめ諸先輩方、関係の皆様には、深く御礼申し上げますと共に、卒業生皆様の益々の御活躍と御多幸をお祈り致します。

## 観劇会のご案内

新橋演舞場

『スーパー歌舞伎 ONE PIECE』

四代目 市川猿之助 主演

- 1. 期 日 平成27年10月17日 (土)
- 2. 会 場 新橋演舞場 東京都中央区銀座 6-18-2  
電話：03-3541-2111
- 3. 募集人員 200名 (定員になり次第締切りとさせていただきます。)
- 4. 募集方法 6月15日ころ、役員・幹事へ通知発送。葉書にて申し込み受け付け。
- 5. 問合せ先 館林女子高校 同窓会係 TEL 0276-72-0139

### 「友誼祭」

昭和37年度卒業

早川 良子



平成二十六年七月五日(土)、六日(日)、三年に一度の文化祭「友誼祭」が開催されました。体育祭とともに学校における最大行事のひとつだと思えます。

同窓会も準備を進めて参りました。

展示用パネルを運び入れ、レイアウトを調整しながら作品を並べていきました。島田先生・泉先生と役員皆さんのアイデアと協力によって「作品展示完了」。素晴らしい会場が出来上がりました。

仕上がったばかりと思われる趣味作品や、昔懐かしい傑作ぞろいの作品は見応え十分。「絵画」「書」「生け花」「レザークラフト」「鍛金」「七宝焼き」etc.。書ききれませんが、クリエーター揃いの同窓生、磨きぬいたプロ級の作品ばかり、目を奪われました。『ぼけ防止などと、ご冗談でしよ』。

同窓生のパワフルな姿勢に感動し、いろいろな事を先送りしている自分を見い出し、もう少しエンジンをかけてなきやいけないなあ…と心に感じました。

私事ですが、茶道部顧問の高橋先生が同門なので、朝のうち「松風庵」にお邪魔しました。お席入りし、定右通りお床の拝見をし季節のお花を愛でながら、美味しい「御薄」を、戴く事が出来ました。

お道具の取り合わせは最高！茶道部生徒の真剣に取り組む眼指を見て少し…ウルウル…。「上手には すきと器用と功積むと この三つそろふ人ぞ 能くしる」

千利休百首の一首です。第一に好きでなくてはならない、第二に器用でなくてはならない、第三に倦まざる修業である。

手先が超不器用な私は、「不器用な人は不器用なりに器用な人に見られない味が出てくるものだから、決して失望すること無いですよ」と恩師に言われ、心を奮い立たせて勉

強した想い出があります。むしろ昔の事です。

生徒達の教室発表は各クラス様々な工夫を凝らしてあり、子供達の若い発想に感心させられました。又クラブごとの舞台発表、それぞれ趣向を凝らして思わず引き込まれる見応えのある発表ばかり、すべての生徒が一丸となって同じ一つの目標に向かって成し遂げる難しさや(団体で行動するという事は、自分の思い通りに物事が進まない事もあり)終わった後の達成感、感動を学んだのではないのでしょうか。もちろん私達本部役員も、この「友誼祭」を通じたふれあいで同窓生と心をひとつに出来、素敵な二日間でした。

ただ二日間で片付けてしまうのは、余りにも勿体ない、残念！

……つばやき……

「同窓会展示コーナー」へ在校生がもつともつと足を運んでくれれば嬉しいなあ…在校生全てに先輩達の磨きぬかれた作品を見て参考にし、何年後かに役に立てて欲しい…そして、感動して欲しかったなあ……。

### 追懐

旧職員 和田 春雄



私は、昭和四十八年四月から六十一年三月までの十三年間、年令で三十六から四十九歳までの、いわば壮年期を勤務させて頂きました。

この十三年間は私にとって教師として、また人間として大きく成長させて頂いた時期であったと思っております。館女での経験があったからこそ、今日があるのだと、有り難く感謝している次第です。

十三年間の懐かしい思い出の数々は、今なお脳裏に鮮明に焼き付いていますが、その中で主として私の関わった幾つかのことについて追懐してみたいと思います。

○学力向上を目指しての二つの取組み

一つは、館女会館が新装されたことを機に、当時の宮田PTA会長始め役員の皆さんの協力を頂きスタートさせた学習合宿。

二つには、家庭における学習量と校内テスト及び校外模

試の成績との相関関係についての調査。

当時はパソコンでなく電卓の時代でしたので、集計に手間どり、長期間にわたり夜間遅くまで家族を巻き込んだハードな作業でありました。

調査結果を研究紀要に掲載し、ひき続き進路決定との関連も追跡して進路資料に加え、後輩の進路決定の参考に供することができました。

○四十キロ強歩大会

体育科相澤教諭から、前任教で実施している五十キロ強歩大会を館女でも実施できないかという提案、職員会議に諮る。女子校であるが故の問題点もあり賛否両論、激論の結果、四十キロ強歩として実施することに決定。

PTA役員、保護者の皆さん、更には周辺地域の方々の全面的な協力を頂いての一大行事のスタートでした。

○輝かしい伝統のあるテニス部副顧問として

四月一日着任日、佐竹先生のもとで副顧問に任せられ、早速コートに足を運びました。初めて目にする迫力ある練習の姿に圧倒されました。

当時のテニスコートは拡張前の狭い校庭の西側に二面ありましたが、地盤が低く大雨の後は池のようになり、時には魚の泳いでいる状態でありました。雨後のコート整備は大変なもので、バケツとスポンジで排水し、手引きの重いローラーにより整備するといった実に大変な重労働でした。

時々行われた合宿では、早朝五時から始め、夜間は体育館で夜中の二時まで練習する実にハードなものでした。また、県外の強豪校との練習試合にもよく出掛けました。

諸々の厳しい鍛練の結果、毎年のようにインターハイや国体出場の選手が輩出されたものと思います。

特に、五十一年度の松本市で開催されたインターハイにおいて、団体三位、となり館女の歴史に残る快挙を成し遂げました。今でも、あの時の光景、興奮は忘れられません。

当時、殆ど一年中休みなく生徒たちと動いていたお陰で、私自身が鍛えられ、現在なお充実した日々を過ごしていられるのだと感謝しています。

私は、サムエル・ウルマン（一八四〇～一九二四）の詩「青春」が好きです。青春とは人生のある期間ではなく、心の持ちかたを言う。

（省略）

ときには二十歳の青年よりも六十歳の人に青春がある。年を重ねただけでは人は老いぬ。理想を失ったとき初めて老いる。（以下略）

現在七十八歳の私ですが、少しでも世の中に役立つ人間でいたい、そんな思いから、現在も福祉事業に携わっています。合間をみては、五十年来の趣味であるゴルフを楽しんでいます。

年令を重ね、経験を積んだからこそ分かる楽しさや充実感があります。希望や理想を失うことなく「老いがい」を満喫しつつ、一度しかない人生を全うしたいと考えております。

最後になりましたが、創立

百周年を迎える館林女子高校並びに同窓会の益々の充実・発展、併せて同窓会員皆様のご多幸を祈念いたします。

## 「あじさいの会」に

よせて

昭和35年度卒業

岩田 富美子

クラス会「あじさいの会」は、二年に一度六月に開催します。今年は二十五日、池袋サンシャインホテル古稀殿で会費四千円、参加者十三名、幹事岩田で楽しい三時間をもちました。

卒業後五十年余が過ぎ、髪



も白く、背も丸く、一まわり小さくなるものの、タイムスリップし想い出話に大輪の花を咲かせる事が出来、少し若返り、得をした気になりました。

私達は、二・三年と編成替えなしの学級です。進学クラスで（？）朝と夕方に一時間余の補習授業が設定されました。生徒会活動や部活動に情熱を注ぐ者もいました。が、級友がライバルで、毎月の模試で偏差値の上下に一喜一憂していました。先生方は、結果を残すべく熱心に指導して下さいました。国立大（埼玉・群馬・千葉大・学芸大）や私立大に多数合格し、館女開校以来の好成績（毎年言うせりふ？）を見たと担任から聞きました。二年間を同じ組・同じ目標の下でライバル意識を持ちながら過ごした私達は、異様な雰囲気の中にあるものの、二人の担任を囲み、クラス会は早くから実施していました。

地元での会が他県に移り、幹事持ち回りに変わったのは、結婚・子育てを終え、ゆとりが出来た頃からでした。

歌舞伎・横浜中華街・東京上野・埼玉新都心・秋田（一泊）。毎回二十四～二十五名が、アメリカや西は京都、北は秋田から集合し、旧交を温め、意義あるひとときを過ごしてきたのでした。

先生の姿が消え、私達だけになって、一層盛り上がりを見せた事は言うまでもありません。唯一の自慢は、四十七名中、四十六名が健在である事です。女性は、さすがに強くなりました。（しなやかで、したたかです。）

三月に入りYさんのTELで幹事が始動しました。JRの大人の休日倶楽部で割安期間決定を受けたのです。幹事の独断と偏見で二十五日（泊）二十六日としました。

第一日、JR熊谷駅十二時集合。マイクロバスで妻沼の聖天院参拝。ここの稲荷寿司は有名。江南町のホテル・ヘリテイジに宿泊。キャンプ、ゴルフ、テニス、結婚式場完備のリゾートホテル。クラス会特別割引も活用です。

第二日、川越へ行く。喜多院、時の鐘、蔵作りの街、菓子屋横丁を散策し、昼食は、

さつま芋づくしの芋会席（アイスがうまい）。JR川越駅解散、一人二万円の素敵なプランを準備したのでした。

群大OB会の席に、地図を広げ行程を説き、ほめ言葉と快諾を期待し待つと、五分の三人が、「泊まりでは参加できない。夫が、家族が、本人が体調を崩し留守に出来ない!!日帰りなら参加できる。」ガツツーン…。大勢の業者とやり取りし、納得のゆくスケジュールにまとめ上げたのに…。結局、日帰りで実施に差し戻されました。諦めきれず、数日後東京在住のHさん、Oさんにも相談しました。同じでした。

古稀を迎え、体力、健康面の個人差の大きさと、家庭の中で主婦の存在の大きさに気づかされました。私の自信作、ツアコンの素質があると自負したプランは、見事に幻と化したのです。経済的・体力的にも泊を伴う会を実行しようと提案していただけに、今回の結果は残念でした。

リタイヤしてから十年、親を見送り、孫育ても終盤に入り、夫や我が身の健康に気を

つかい、社会の中ではまだ指導的役割部分を残しつつも、そろそろ自分の終末をどう演出しようか…と言う時を迎えた今、まわりから目をかけ、手をかけてもらう日を少しでも先に遅らせる様に諸々の試みを重ね、士気を鼓舞する友のけなげな姿から、卒業して五十年の経過をじっくり確かめあった十三名の三年一組の集いでした。

## 女学生時代の思い出

昭和13年度卒業

葛生 章



懐かしい女学生の頃の思い出を依頼され、色々なことが浮かぶのではないかとペンを取りました。でも九十一才を越えると、あまりにも記憶力が落ちているので哀しいです。でも思い浮かぶものを記してみます。

校門は大きな背の高い御影石が左右に立っておりました。少し進むと正面が先生と来賓の玄関、その右手に日本風の小さな池があり、何故かその池が大好きでした。切りつめられた藤の木が心に残っております。

校舎は木造平屋で、廊下は巾の広い木でザラザラしていたように覚えていきます。教室数は全校で八教室。一学年が西組と東組で、一教室に生徒数は五十人程。今では考えられないでしょう。その他、作法室、裁縫室、割烹室、雨天体操室、講堂。校舎から講堂に行くには屋根だけの渡り廊下、コンクリートの上に木製の簀の子を並べたもので、走るとガタガタ音がしました。講堂に入るとすぐにピアノがあり、音楽の堀越先生が弾いている姿が思い出されます。

校庭には第一に奉安殿があり、前を通るたびにお辞儀をする習わしでした。奉安殿は、大きくないけれどとても立派なものでした。中には昭和天皇のお写真と教育勅語が納められていると聞きました。祭日式典の時は、校長先生が

真白い手袋をしてうやうやしく教育勅語を朗読されました。奉安殿の南に神社がありました。校庭は西からテニス、バレー、バスケットコートと並んでおりました。校庭の南側はお茶の木の生け垣で、茶摘みの季節にはみんなで茶摘みをしました。その南には汚

い大きな池があり、隣の神戸生糸会社の汚水が溜り、いやな臭いがしていました。生糸会社には私達と同じ年頃の女の子が大勢集団就職で来ていた様です。私達の運動会の日のこと。昼休み頃、心に残る言葉を耳にしました。「今日は隣の工場が運動会だ」。不思議な気持ちで聞きました。記憶があまりさだかではありませんが、満州事変の後、日支事変と大きな戦争が続きました。授業時間中、館林駅前通りにならび出征兵士を送り、又は戦死者の遺骨を迎えに何度も行きました。その他、招魂社参拝に行きました。招魂社は今の第一小学校の西に大きな石碑が立っており奇麗な所でした。戦争を経験している人はもう少なくなりま

したが、「戦争だけは如何なる事があっても避けなければなりません。」と、大声で叫びたいです。どちらも不幸な人が沢山出来るのですものね。

昭和十二年、十三年頃は勉強より勤勞奉仕の時間が沢山ありました。今日は招魂神社、今日は尾曳神社、又は花山と草取りに行きました。昔の競馬場の後に飛行学校が出来るので、その時も労働奉仕で土運びもしました。飛行学校の開校式には全校生徒で見学に行きました。卒業後、戦争が激しくなり、とっても恐い思いをしました。機銃掃射をうけるので、防空壕で小さく

なっていました。昭和二十年八月十五日敗戦をむかえ、日本中が想像もできない食糧不足。お腹がすいても食べものがないことはとっても辛いことでした。

世界中に平和な日々が続いていくまで続きますよう心から祈ります。

## 役員となつて

昭和50年度卒業

神戸 久美子

平成二十六年六月より同窓会の役員をさせて頂いていま



す。役員さんの欠員補充という事で引き受けさせて頂きましたが、残つてくださった役員皆さんが母校の為に一生懸命動いている姿を見させて頂き、今、大変さを痛感している所です。

私は館女を卒業して四十年近くになりますが、同窓会なんて全く興味ありませんでしたが、年に一回の総会に始まり、母校の部活動の応援等、目に付かない所での活動がたくさんあったのです。

館女も創立百周年が近くやってくるそうです。邑楽館林地区にいますと、巾広い層の方々と話が盛り上がり楽しい時を過ごす事ができます。それだけ歴史がある訳です。これからも歴史は続いて行きます。館女の発展と共に同窓会の繁栄の為に、微力ではありますが役員の一員として頑張りたいと思います。館女を卒業された方は皆同窓会の会員です。沢山の方々の総会参加で大いに盛り上げられればと思います。  
今後共宜しくお願いします。

## 転退任・新任職員の紹介

### 退職者・転出者

- 新井 久夫 (校長) 退職
- 二渡 諭司 (教頭) 総合教育センター
- 金井 孝夫 (数学) 太田東高等学校
- 田部井澄恵 (英語) 西邑楽高等学校
- 益子 千里 (数学) 桐生女子高等学校
- 野口 真之 (国語/地公臨) 太田女子高等学校
- 神藤啓太郎 (地公/地公臨) 太田工業高等学校
- 齋木香菜子 (英語/地公臨) 尾瀬高等学校
- 岡松 亮 (音楽/地公臨) 館林高等特別支援学校
- 増子紗由樹 (英語/育休補) 伊勢崎興陽高等学校
- 荻野 桃子 (家庭/非常勤) 館林商工高等学校

### 転入者・新採用者

- 金子 弘幸 (校長) 前橋高等学校
- 長谷川 充 (教頭) 館林高等学校
- 金澤 則明 (数学) 市立前橋高等学校
- 小野 隆 (数学) 太田女子高等学校
- 渡邊 邦子 (家庭) 太田高等学校
- 奈良原昌樹 (地公) 大泉高等学校
- 本間 大樹 (英語) 新採用
- 遠藤 麻美 (英語/地公臨) 新規
- 武 由桂 (英語/非常勤) 新規
- 齋五澤和子 (英語) 復帰
- 増田 賢一 (国語) 復帰
- 島田 聡 (音楽) 復帰

「ありがとうございました」  
平成二十五年度の総会で太田支部(代表:松月由里子様)、平成二十六年年度の総会で昭和二十八年年度卒業生一同(代表:谷津美子様)より同窓会へご寄附を戴きました。活動に大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

## 百周年記念史

### 資料提供お願い

百周年記念事業の一環として『館林女子高等学校百年史』を刊行することとなりました。つきましては、同窓会員の皆様のご協力をお願い致します。必要な資料は次の通りです。

- 文化祭等の学校行事の写真
- 部活動で全国大会・関東大会に出場した時の写真(県大会優勝時の写真も可)
- 群馬県や全国表彰を受けた写真や情報
- 上毛新聞(全国新聞)に掲載された記事やその情報
- 館林女子高校の学校新聞
- 文化祭のポスターやパンフレット
- 文化部の活動内容がわかる資料

なお、折角提供いただいたも諸事情により掲載できないこともあることを、予めご了承ください。



## 編集後記

昨年引き続き、会報を担当させて頂きました。前回よりも慣れたかと思いきや、未だに他の先生方に助けていただいたりご迷惑をかけたりと七転八倒している状態でした。

ですが今年の会報も、同窓生の皆様方にお寄せいただいた文章によって、無事に完成させることができました。

どの方の文章も特色にあふれて非常に味わい深く、思わず読みふけてしまい、職員室で一人頷いたりニコニコしてしまったり。怪しい光景になってしまいました。ですが去年はそれどころではなく、右も左も分からない中での作業だったことを思えば、少しの余裕が身についたような気がします。

一年目を無事に終え、二年目に入ったからこそ、油断をせず、けれど去年の経験を活かして、今年度も同窓会活動に取り組んでいけたらと思います。

(文責 中村)

平成27年度入試の合格校等一覧(過年度卒を含む)

【四年制大学】

(国公立大学)

Table with 3 columns: 学校名等, 分類, 合格者数. Lists national/public universities like 群馬, 茨城, 山形, etc.

(私立大学)

Table with 3 columns: 学校名等, 分類, 合格者数. Lists private universities like 共愛学園, 桐生, 群馬医療福祉, etc.

Table with 3 columns: 学校名等, 分類, 合格者数. Lists various private universities including 聖心女子, 成蹊, 専修, etc.

【短期大学】

Table with 3 columns: 学校名等, 分類, 合格者数. Lists short-term universities like 育英短大, 開東短大, etc.

【専修各種学校】

Table with 3 columns: 学校名等, 分類, 合格者数. Lists specialized schools like 太田高等看護学院, 館林高等看護学院, etc.

【就職】

Table with 3 columns: 企業名, 分類, 就職者数. Lists companies like 日本郵便, 慶友病院, etc.

